

2026 年 10 月 26 日

(報道資料)

NTT インフラネット株式会社
株式会社パスコ

NTT インフラネットとパスコがインフラ管理事業で連携 インフラ管理技術と空間情報技術の融合で市場拡大を目指す

NTT インフラネット株式会社（本社：東京都中央区、以下「NTT インフラネット」、NTT グループ）と株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下「パスコ」、セコムグループ）は、官民が管理するライフラインなど、社会インフラ管理の課題解決と市場拡大に向けた取り組みに関する基本合意書を締結しました。

両社は、NTT インフラネットが保有する GIS（地理情報システム）・スマートメンテナンス技術と民間インフラ事業者向けチャンネル、パスコが保有する空間情報技術と自治体向けチャンネルを連携し、既存サービスの強化・拡張、新たなサービスの創出を目指します。

本連携により、ライフラインなどの効率的な管理を実現し、官民事業者間における連携を促進するとともに、生産性やメンテナンス性の向上と持続可能な社会インフラの構築を支援していきます。



■ 背景

高度経済成長期に集中的に整備された上下水道、道路、電話、電気、ガスなどの社会インフラの老朽化が進行し、維持管理や更新需要が今後さらに増加することが見込まれています。

一方で、これらを支える技術者の不足、財源の制約、技術継承の課題などが顕在化し、これまで以上に効率的かつ計画的なインフラの維持管理が求められています。また、インフラ管理事業者が管理する空間情報のデジタル化の遅れや、精度や形式のばらつき、官民管理主体ごとの個別管理などが効率化の妨げになっています。

今後、インフラの維持管理を効率的に行うためには、管理する空間情報の効率的なデジタル化に加え、精度や形式の異なる空間情報の融合技術開発や、官民管理主体間の情報連携を支援する仕組みの構築などが必要です。

こうした背景から、このたび2社が協業することに至りました。

■ 協業の概要

インフラ管理に関する空間情報技術の官民連携を中心に以下の実施を目指します。

① 高精度 3D ビジネスの創出

NTT インフラネットが保有する高精度 3D 空間情報^{※1}および GEOSPACE 電子地図と、パスコの MMS^{※2}計測・処理技術を融合することで、高精度な 3 次元都市データを整備し、それを活用した新たなビジネスモデルの創出を目指します。

※1 高精度 3D 空間情報は、インフラ設備における相対的位置の基準点として活用されるもので、道路境界やマンホールなどの地物を、地図情報レベル 500 相当の高精度な座標データとして整備したものです。

※2 MMS (Mobile Mapping System : モービルマッピングシステム) は、3 次元レーザー計測機とデジタルカメラによって、道路面および道路周辺の 3 次元座標データと連続カラー画像を取得する車両搭載型測量システムです。

② インフラ管理 DX 促進

NTT インフラネットの「下水道スマートメンテナンスツール^{※3}」と、パスコの自治体向けクラウドサービス「PasCAL for LGWAN」を連携し、自治体への提供ビジネスモデルを拡大すること。また、両社が開発したデータ整備支援ツールや地下情報管理技術により、民間および自治体保有の図面デジタル化事業を促進することを目指します。

※3 下水道スマートメンテナンスツールは、下水道のマンホールふた、マンホール、管きょ、巡視点検をタブレット等で点検し、点検結果を地図上でデジタル管理する GIS (地理情報システム) サービスです。

<https://www.nttinf.co.jp/service/smartinfra/gesuisumame>

③ 衛星活用ビジネスの拡大

NTT インフラネットの熱赤外衛星および地理空間データと、パスコの合成開口レーダー (SAR) 衛星や光学衛星データを組み合わせた、新たな衛星ビジネスモデルの創出を目指します。

特にインフラメンテナンス分野・防災分野における新たな衛星データ利活用の実現を目指します。

④ ビジネス相互連携

両社が有する技術やマーケティングチャネルを連携し、今後、NTT グループ各社をはじめとする関係事業者へのスキーム拡大も視野に入れ、新たなビジネスチャンスの創出を目指します。

■ 各社の役割

NTT インフラネット

- ・ 高精度 3D 空間情報や GEOSPACE 電子地図および地番地図などのコンテンツ
- ・ データ整備ツールを活用したデータデジタル化および位置補正技術、空間データ処理技術
- ・ インフラメンテナンス事業基盤 (営業ネットワーク・スマートインフラメンテナンスソリューション・業務知見)

パスコ

- ・ MMS や航空機・人工衛星など保有または権利を有する機材を活かした計測や空間解析技術
- ・ 道路やインフラ関連のデータ整備や台帳作成、AI 活用技術および GIS サービス技術
- ・ 自治体向け営業ネットワークおよび自治体インフラ管理に関する業務知見

■ NTT インフラネット株式会社について

NTT グループが全国に保有する通信基盤設備の維持・運用業務を一元的に実施し、その豊富なノウハウを活用して、通信をはじめとする社会インフラ設備の構築・維持を担っています。優れたコストパフォーマンスと安全性を兼ね備えたインフラ設備維持ソリューションを、先進技術と全国対応可能なネットワークを駆使して提供します。またインフラ設備管理に欠かすことができない地理空間情報である「高精度 3D 空間情報」および「GEOSPACE 電子地図」の提供など、社会インフラを支える事業を展開しています。

代 表 者： 代表取締役社長 上原 一郎

事業内容： 電気通信・土木設備に関する調査、設計、工事、保守、運用・管理、電子地図の制作・販売

U R L： <https://www.nttinf.co.jp/>

■ 株式会社パスコについて

パスコは、セコムグループの一員として「社会システム産業」の構築に向け、地理空間情報サービス事業領域を担っています。人工衛星、航空機、MMS などを活用した計測技術と、GIS をはじめとする空間情報技術を基盤に、社会課題の解決に資する各種ソリューションを提供しています。行政・民間を問わず、道路、上下水道をはじめとする社会インフラの維持管理や、各種台帳・図面のデジタル化、DX の推進を支援しています。

代 表 者： 代表取締役社長 高橋 識光

事業内容： 人工衛星・航空機等を活用した空間情報の収集・解析・サービス提供

U R L： <https://www.pasco.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

NTT インフラネット株式会社

(報道機関)

スマートインフラ推進本部 GIS ビジネス部 GIS ビジネス開発担当

担当：千葉、大河

Mail：3dlocation_info@nttinf.co.jp / TEL：03-6802-7342

株式会社パスコ

(報道機関)

広報部

Mail：press@pasco.co.jp

※記載内容は、発表時のものです